

庄内川水系流域治水プロジェクト (各構成員版)

多治見市・・・P3	江南市・・・P12	豊山町・・・・・・・・・・P21
瑞浪市・・・P4	小牧市・・・・・・・・P13	大口町・・・・・・・・・・P22
恵那市・・・・・・・・P5	稲沢市・・・・・・・・P14	扶桑町・・・・・・・・・・P23
土岐市・・・・・・・・P6	尾張旭市・・・P15	大治町・・・・・・・・・・P24
名古屋市・・・P7	岩倉市・・・・・・・・P16	蟹江町・・・・・・・・・・P25
一宮市・・・・・・・・P8	清須市・・・・・・・・P17	東海農政局・・・・・・・・P26
瀬戸市・・・・・・・・P9	北名古屋市・・P18	中部森林管理局・・・P27
春日井市・・・P10	あま市・・・・・・・・P19	多治見砂防 国道事務所・・・P28
犬山市・・・・・・・・P11	長久手市・・・P20	

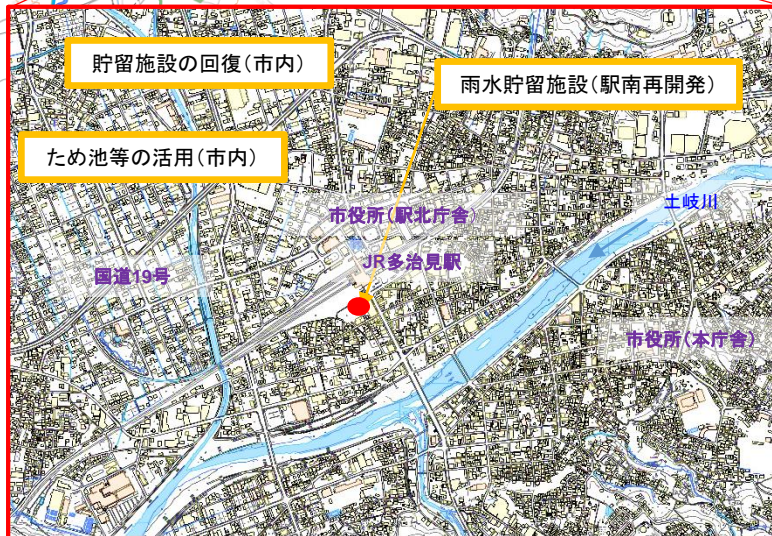
目標

オール多治見による**雨水流出抑制と市民の防災意識向上を实践**、中流域の役割として**下流に位置する市町への流出負担軽減**

- 2011年台風15号豪雨被害を受け、平成24年に「多治見市平和町、池田町、前畑町、田代町等雨水排水対策協議会」を設置し、71事業を実施。対象区域の床上浸水が概ね解消。
- 【事業期間】2011年から2018年(8年間) 【総事業費】74.9億円(うち 国費:40.2億円)
- さらなる浸水対策推進のため、市内全域を対象にした、国・県・市等関係者による多治見市浸水対策協議会を平成31年に設置。今後は、流域治水対策とともに事業を実施予定。



庄内川流域図



対策メニュー

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
 - ・河道掘削
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備(雨水貯留施設の新設(駅南再開発)、貯留施設機能の維持・回復(調整池堆積土砂の浚渫)
 - ・民間開発による貯留施設設置指導(開発行為に対する流出抑制指導)
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援(雨水貯留施設設置補助金交付)
 - ・ため池等の活用(ため池等農業施設の活用、既設貯留施設(ため池等)の事前放流)
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設、増強(雨水排水網の新設、増強)

【被害対象を減少させるための対策】

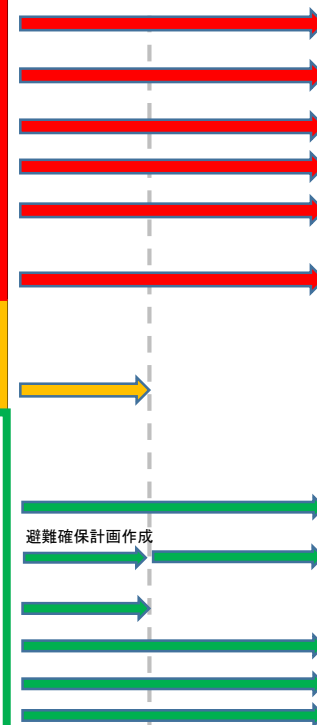
- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
- ・立地適正化計画への防災指針の位置付け

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・地下空間、地区タイムラインの作成、周知(タイムラインの作成、周知(運用・住民周知・見直しの実施、地区タイムラインの作成支援))
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保(高齢者等の避難確保計画の策定の推進)
 - ・関係機関との連携強化(多治見市浸水対策協議会)
 - ・ハザードマップの更新(ハザードマップの作成、活用)
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育(防災教育の実施)
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組(水防訓練の実施)

H23洪水時の様子

短期 中・長期



※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

目標

瑞浪市は、上流域に位置する自治体として、**豊かな水辺環境の維持に努める**とともに、中・下流域への流出負担軽減を推進し、市民の防災意識の向上を図る

庄内川流域図



土岐橋



普通河川 カケ沢川

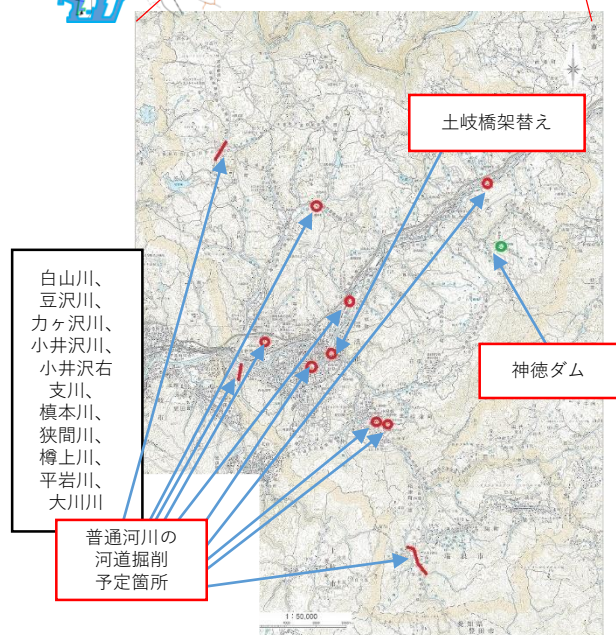


神徳ダム

一級河川での河川橋梁改築

普通河川の河道掘削の実施

ため池等の活用



土岐橋架替え

神徳ダム

普通河川の河道掘削予定箇所

対策メニュー

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
 - ・一級河川での河川橋梁改築
 - ・普通河川の河道掘削及び浸水対策の実施
- 流出抑制対策
 - ・既設ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築
 - ・民間開発による貯留施設設置指導（開発行為に対する流出抑制指導（貯留・浸水施設））

【被害対象を減少させるための対策】

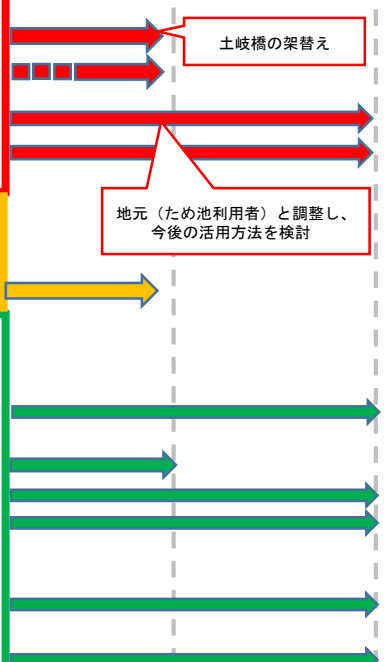
- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（立地適正化計画へ防災指針の位置付け）

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知（自治体タイムラインの周知）
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保（高齢者等の避難確保計画の策定の推進）
 - ・関係機関との連携強化（土岐川流域新五流総地域委員会）
 - ・ハザードマップの更新（ハザードマップの更新・活用）
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知（気象・防災情報の提供）
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（マイタイムライン作成の促進）

短期

中・長期



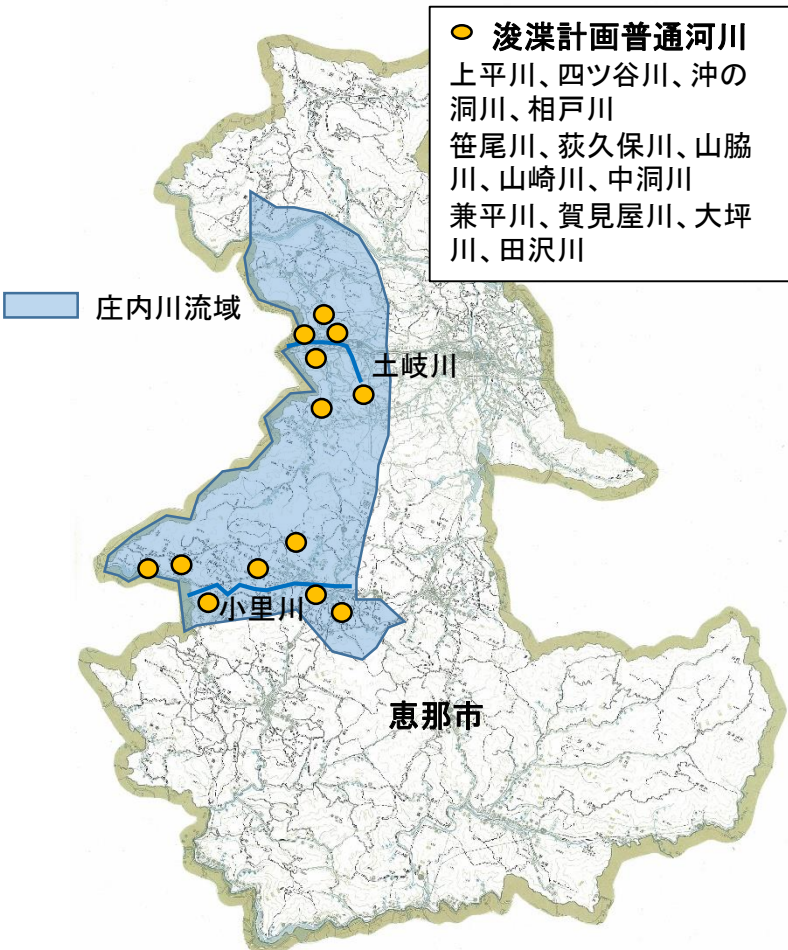
土岐橋の架替え

地元（ため池利用者）と調整し、今後の活用方法を検討

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

庄内川流域の源流部に位置する恵那市

“水源地の森林を守り、育て豊かな水を下流域へ” を目標に森林保全事業を実施



森林整備面積 (ha)

令和2年度	3.50ha
令和元年度	10.38ha
平成30年度	21.55ha

(森林環境保全直接支援事業, 環境保全林整備事業)



森林整備状況

対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (河川浚渫 令和2年度～令和6年度) ●流出抑制対策 ・農業水利施設の活用 (農業用ため池の整備) ・森林保全 (森林整備“間伐”)	→	→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 ●被害軽減対策 ・地下空間、地区タイムラインの作成・周知 (タイムラインの作成推進“自治会”) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進 と避難の実効性確保 (高齢者等の避難計画策定の推進)	→	→

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10年～20年程度を想定

土岐市では、【上流域の自治体として雨水流出抑制に努め、市民の防災意識向上を目指す】森林保全やため池貯留等による雨水流出抑制、災害図上訓練や小学生を対象とした防災教育による防災意識の向上に努める。



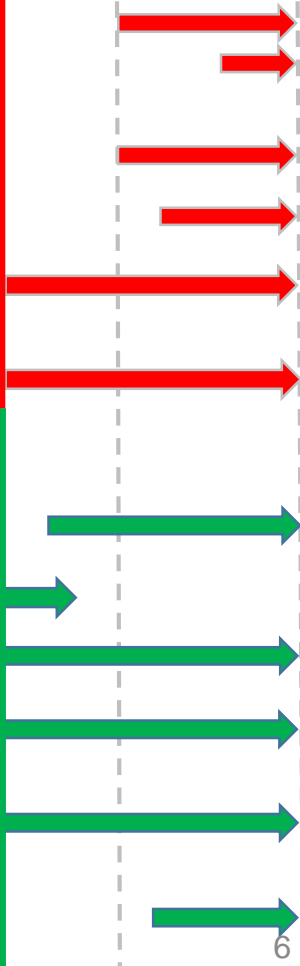
対策メニュー

短期 中・長期

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10~20年程度を想定

- 【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】**
- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
 (普通河川での河道掘削(維持管理計画等の検討)
 (橋梁の架替(土岐津橋改築))
 - 流出抑制対策
 - ・民間開発による貯留施設設置指導
 (開発行為に対する流出抑制指導(貯留・浸水施設))
 - ・ため池等の活用
 (既設貯留施設(ため池等)の事前放流)
 - ・森林保全
 (間伐等森林の整備による洪水緩和機能の保全・強化)
 - 土砂災害対策
 - ・砂防施設の整備
 (急傾斜施設の整備(妻木旭町で実施中))

- 【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】**
- 被害軽減対策
 - ・地下空間、地区タイムラインの作成・周知
 (自治体タイムライン作成・周知(随時見直し))
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進)
 - ・関係機関との連携
 (関係機関との連携(土岐川流域新五流総地域委員会))
 - 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育
 (住民防災意識向上のための取組(小学生対象の防災教育))
 - ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
 (ハザードマップの作成・活用(災害図上訓練の実施)、住民連携による施設維持(点検および操作訓練))
 - ソフト対策のための整備
 - ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設
 (普通河川に於ける危機管理型水位計及び監視カメラの設置)



【名古屋市の流域治水対策】

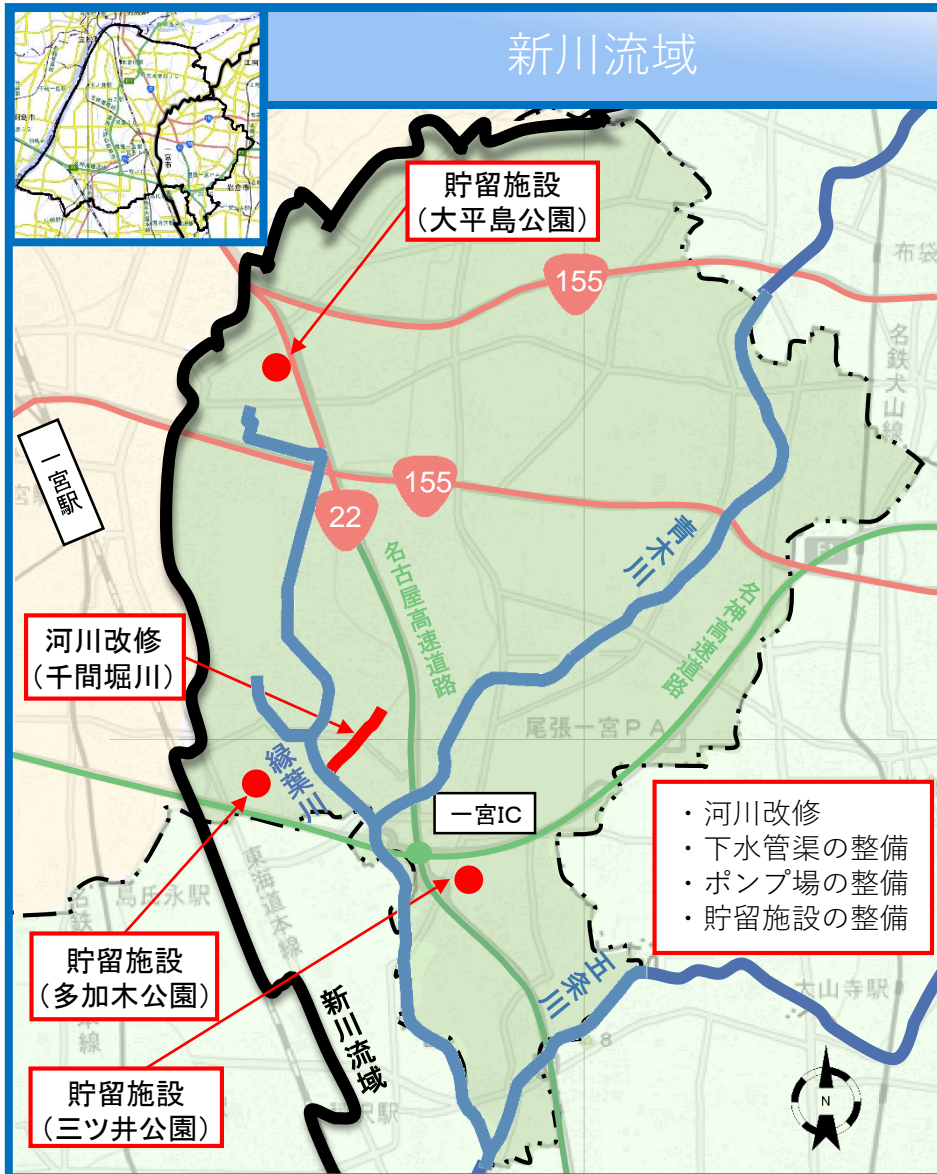
新しい時代にふさわしい豊かな未来を創る！世界に冠たる「NAGOYA」へ向けて、あらゆる関係者により、**広範囲に存在する災害リスクに対応し、名古屋大都市圏の中核都市として、全国の都市部の先駆けとなるような流域治水を展開**



対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ● 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備（橋梁改築、堤防(護岸)整備、河床掘削） ● 排水機場の新設・増強・長寿命化(排水機場の増強) ● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備(調整池、調節池) ・ため池等の活用(河川・ため池・調節池の堆積土砂の浚渫等)(ため池の機能強化(施設改良、耐震化)) ● 内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強 ・ポンプ場の新設・増強・機能強化(雨水ポンプの新設・増強・機能強化(耐震化、耐水化)) ・効率的なポンプ運転調整ルールの検討 		
【被害対象を減少させるための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ● 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ・立地適正化計画への防災指針の位置付け(防災指針の作成) ・水害リスクの低い地域への居住誘導(立地適正化計画に基づく居住誘導) 		
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・公園等を活用した高台の整備 ・広域避難計画の策定(想定最大規模の洪水を踏まえた広域避難計画の策定) ・地下空間、地区タイムラインの作成・周知(地下空間タイムラインの活用) ・水位周知下水道の指定・運用 ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保(要配慮者利用施設等における避難確保計画の取組の促進) ・ハザードマップの更新 ● 住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい教材等を用いた防災教育(住民への普及・啓発(雨水流出抑制の推進)) 		

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

新川流域



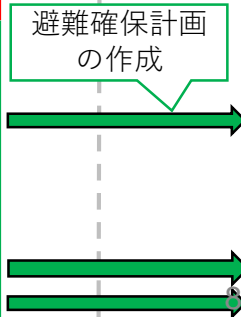
H12東海豪雨時の浸水状況

対策メニュー

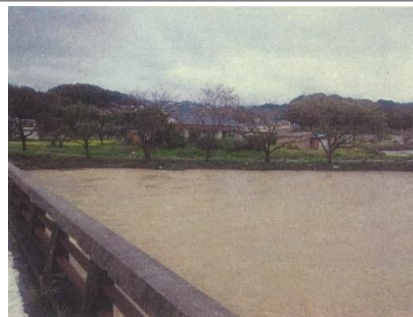
短期 中・長期

- 【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】**
- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (河川改修(千間堀川等))
 - 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備 (貯留施設の整備)
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (浸水対策施設設置補助)
 - 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強 (下水管渠の整備)
 - ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (ポンプ場の整備)

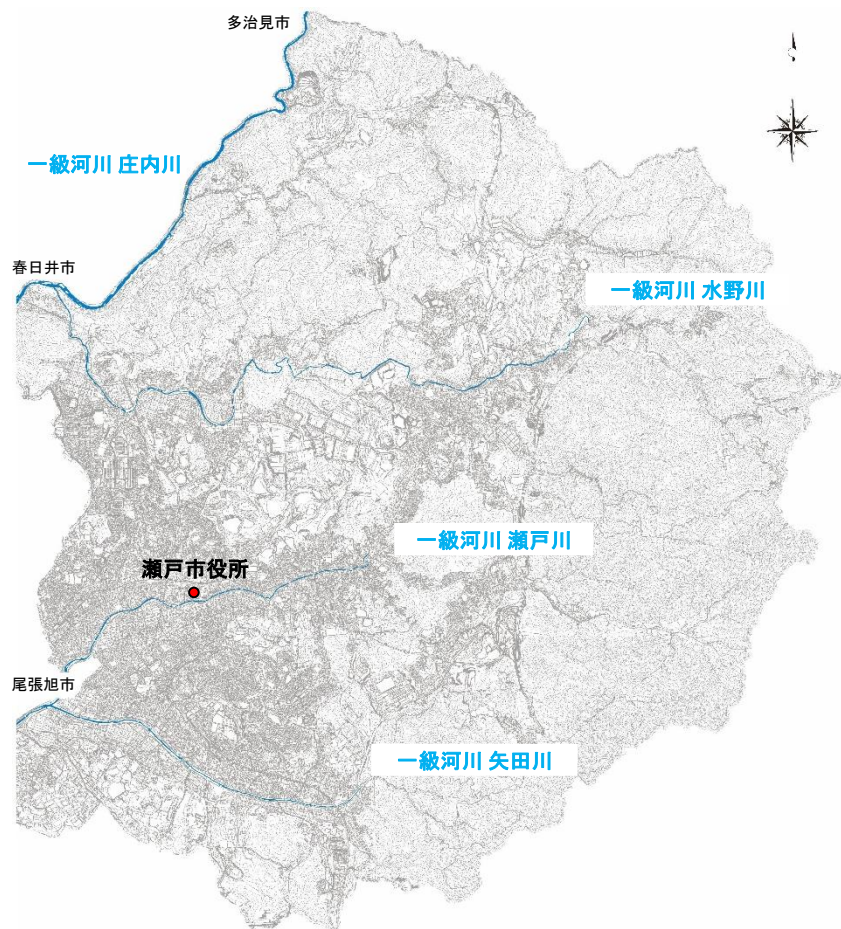
- 【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】**
- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知 (防災ハンドブック改訂) (防災メール)



“住みたいまち 誇れるまち 新しいせと” 水災害リスクを低減するまちづくり



一級河川 水野川（平成23年9月 台風15号）



一級河川以外の市管理河川で、河床掘削や河道内の樹木伐採等の実施（検討中）

ため池の活用 移住誘導の検討 避難訓練の促進 ハザードマップの更新

瀬戸市全域図

対策メニュー

短期 中・長期

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
（一級河川以外の市管理河川で、河床掘削や河道内の樹木伐採等の実施）
- 流出抑制対策
・ため池等の活用
（ため池の活用を実施）

対象河川は検討中

【被害対象を減少させるための対策】

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
- ・水害リスクの低い地域への居住誘導
（水害リスクの低い地域への移住誘導を検討）

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
（作成した計画に基づく避難訓練の実施促進）
- ・ハザードマップの更新
（現行のハザードマップの背景地図を更新）

避難確保計画作成（令和3年度）

令和3年度予定

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定



★安全安心で快適な住環境が整ったライフタウン！－これからも住みつづけたいまちへ向けて、国・県、そして市民とともに進める庄内川・八田川・地蔵川・内津川流域全体の治水対策－

流出抑制対策

ため池の活用

調整池の整備

活用の検討開始

活用中



熊野桜佐地区雨水1号調整池

内水被害軽減対策

雨水排水網の新設・増強

ポンプ場の新設・増強・機能強化

熊野桜佐土地区画整理地区

西部第一・第二土地区画整理地区

上条地区

勝西ポンプ場

庄内川

対策メニュー

短期 中長期

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

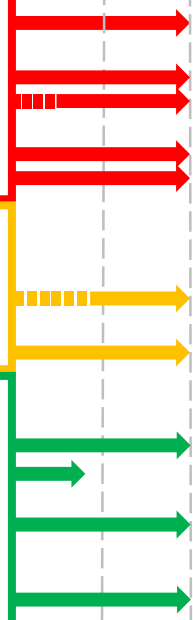
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備（調整池の整備）
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援（家庭雨水利用促進補助）
 - ・ため池等の活用（流域の雨水貯留機能の向上（ため池の活用））
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強
 - ・ポンプ場の新設・増強・機能強化

【被害対象を減少させるための対策】

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（立地適正化計画への防災指針の位置付けを検討）
- 浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策
 - ・出水期前に希望する市民への土のうの事前配布

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・ハザードマップの更新（洪水ハザードマップ（最大想定規模）の配布）
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育（水防訓練の実施）
- ソフト対策のための整備
 - ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設（ライブカメラ等による水位情報の配信）



【犬山市の流域治水対策】

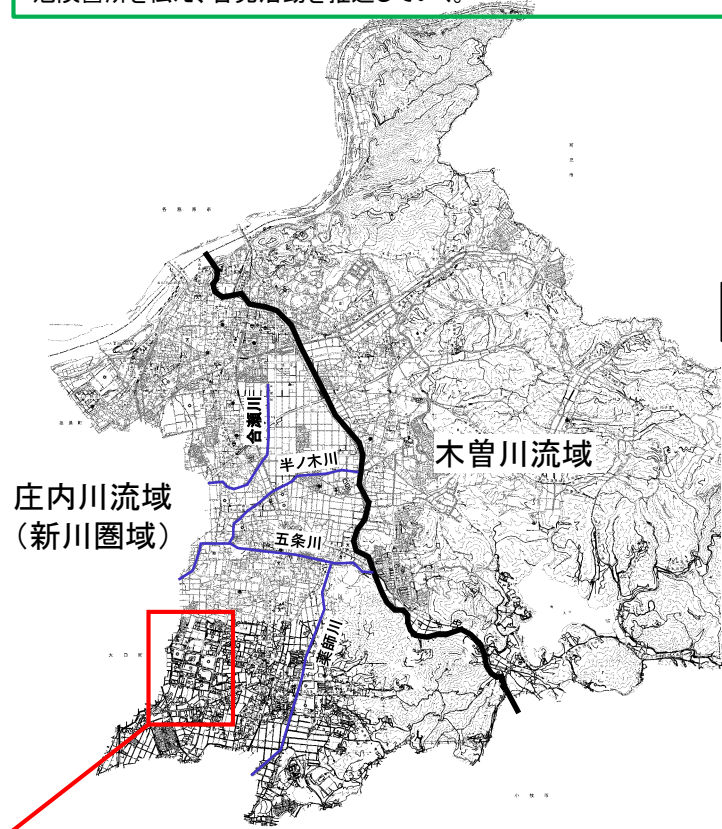


○犬山市では、上流域の役割として下流に位置する市町村への流出負担軽減及び市民の防災意識向上の実施をめざす。
 ○具体の施策としては、内水被害軽減対策として雨水排水網の増強や、ハザードマップ作成等により住民の防災意識向上を実施していく。

◎市民を対象にハザードマップを活用した防災講話を実施。避難行動の重要性や危険箇所を伝え、啓発活動を推進していく。



平成25年9月の豪雨時の状況

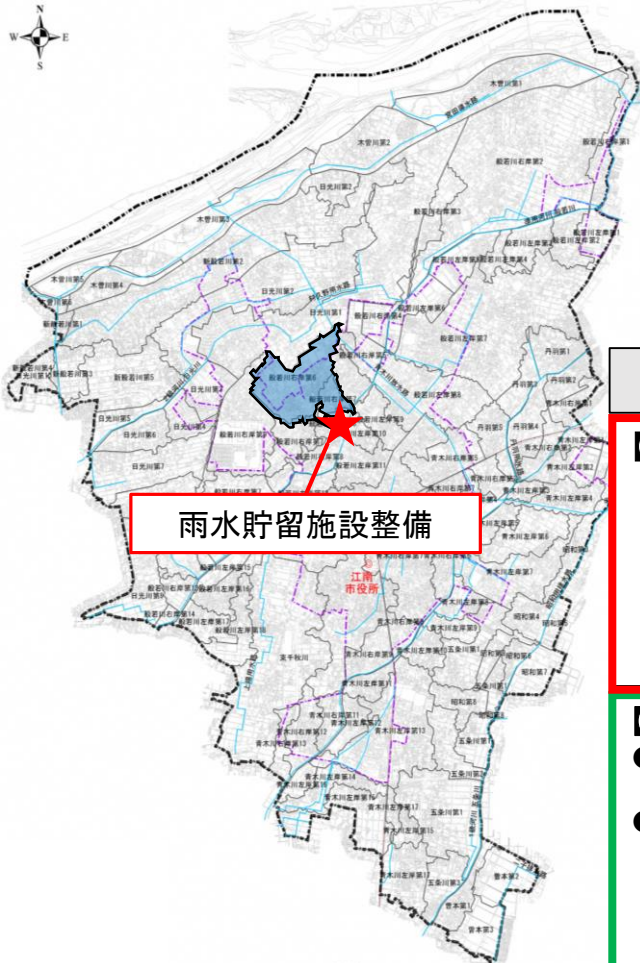


◎近年の豪雨により浸水被害が発生している地区を優先し、排水網の新設・増強を行うとともに、放流河川への負荷を軽減させるための調整池を整備する。

対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援（雨水貯留浸透施設設置費の補助） ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強 	→	→
【被害対象を減少させるための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●頻発・激化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（立地適正化計画に基づく検討） 	→	→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保（高齢者等の避難確保計画策定の推進） ・ハザードマップの更新（ハザードマップを作成し、住民の防災意識向上に向けた取組を実施） ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育（住民の防災意識向上のための取組） ●ソフト対策のための整備 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設（監視カメラの設置・増設） 	R2年度 避難確保計画作成済み →	→

○江南市では、浸水被害のないまちづくりを推進し、【地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市】をめざす。

○具体の施策としては、雨水貯留施設整備や避難情報周知等の流域治水対策を実施していく。



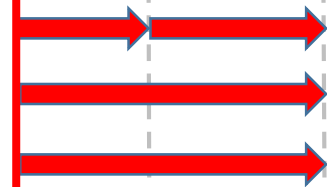
対策メニュー

短期

中・長期

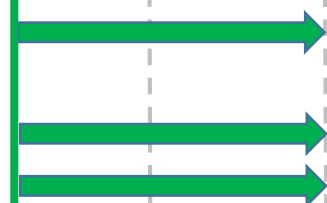
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備
(雨水貯留施設や雨水管線の整備)
 - ・民間開発による貯留施設設置指導
(江南市雨水流出抑制基準に基づく流出抑制指導)
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援
(雨水貯留浸透施設設置費補助に対する助成)



【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成推進と避難の実効性確保
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知
 - ・分かりやすい教材を用いた防災教育
(住民の防災意識向上のための取組(防災教育の推進等))



【小牧市の流域治水対策】

・いつ起きるか分からない大雨による**浸水被害を最小限に抑制**し、市民の貴重な生命と財産を守る。
 ・市民自らが災害に備えるとともに、地域住民がお互いに顔の見える関係を構築することで、災害発生時に**地域が一体となって被害を最小限に抑えられる**まちを目指す。



準用河川整備

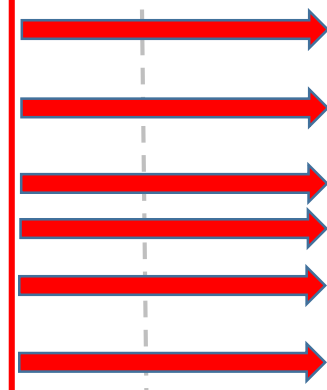


対策メニュー

短期 中・長期

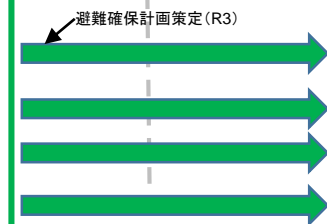
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (準用河川整備(新川・小針川))
- 流出抑制対策
 - ・ 貯留管等の整備 (公園等の活用を含む雨水貯留施設整備 ((仮称)第3老人福祉センター・井領公園・本田会館北公園))
 - ・ 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設等設置補助金)
 - ・ ため池等の活用 (ため池の機能強化)
 - ・ 水田の貯留機能向上 (水田利用による雨水流出抑制対策)
- 内水被害軽減対策
 - ・ 雨水排水網の新設・増強 (大山川排水区・薬師川排水区・下小針雨水幹線)



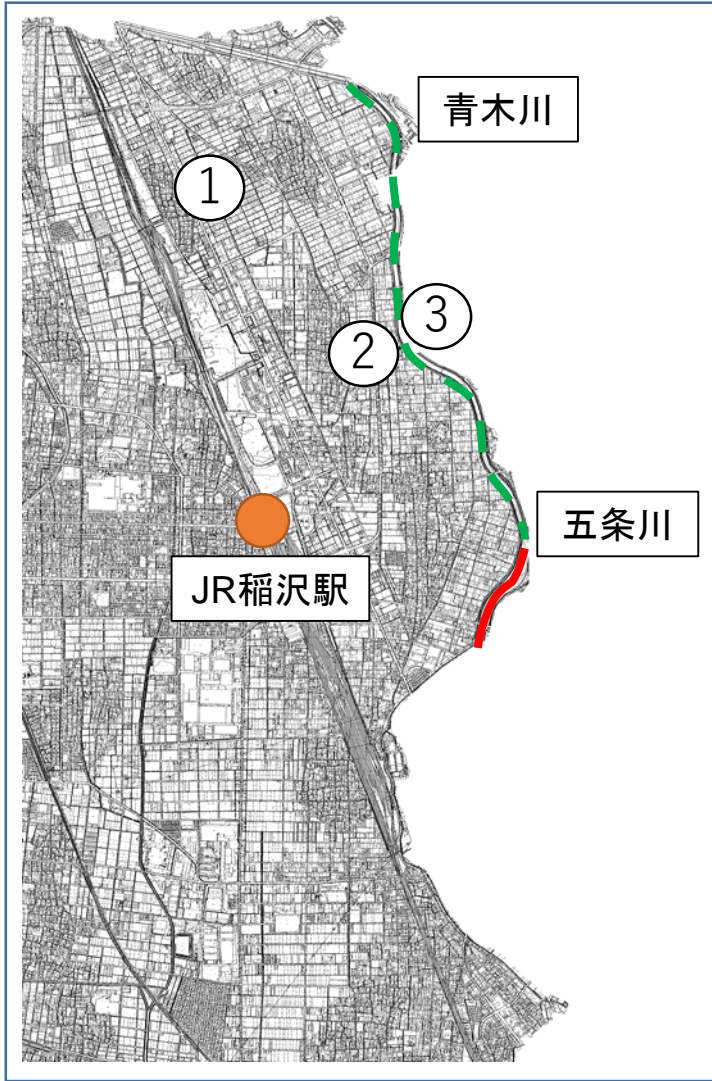
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・ 要配慮者施設等の避難確保計画策定の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進)
 - ・ ハザードマップの更新
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・ 避難場所や経路等に関する情報の周知 (小牧市防災ガイドブック配布、HP掲載)
 - ・ 分かりやすい教材等を用いた防災教育 (学校区単位の防災訓練、講師による防災講演会)



※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

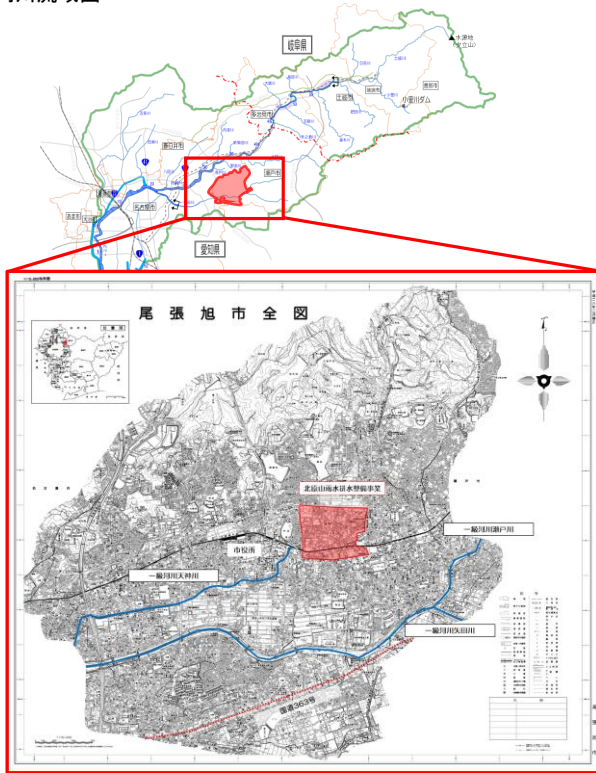
- 安全・安心で、健康に暮らせるまち「INAZAWA」をめざす。
- 雨水貯留施設の整備、被害の軽減対策を実施していく。



対策メニュー	短期	中期	長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 ●流出抑制対策 ・貯留管等の整備 (調整池の整備) 図内① (流域貯留) 図内②	→		→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 ●被害軽減対策 ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (避難確保計画の早期作成を要請中) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 ・避難場所や経路等に関する情報の周知 (ハザードマップ更新(令和2年度)に伴う防災マップの配布 (令和3年度)) ●ソフト対策のための整備 ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 (監視カメラの増設) 図内③	→	→	→

○「すくすくのびのび尾張旭市」自然に恵まれたまちだからこそ、雨に強いまちづくり
○排水施設の整備・維持管理を行い、大雨による浸水被害を最小限に抑制する

庄内川流域図



平常時

増水時 (R2.7.18 30mm/h)

一級河川天神川 【写真】天神川1号橋より下流側を撮影

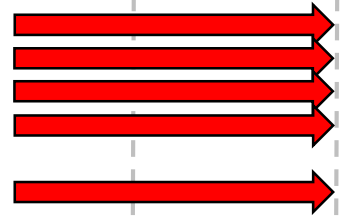
対策メニュー

短期

中・長期

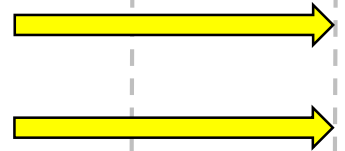
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備（貯留施設の整備・保全）
 - ・ため池等の活用（ため池の活用による流出抑制）
 - ・水田の貯留機能向上（水田の活用による流出抑制）
 - ・透水性舗装の整備
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強（排水施設の整備・維持管理）



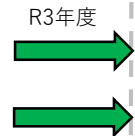
【被害対象を減少させるための対策】

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（防災指針の検討・作成）
- 浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策
 - ・出水期前に希望する市民への土のうの事前配布

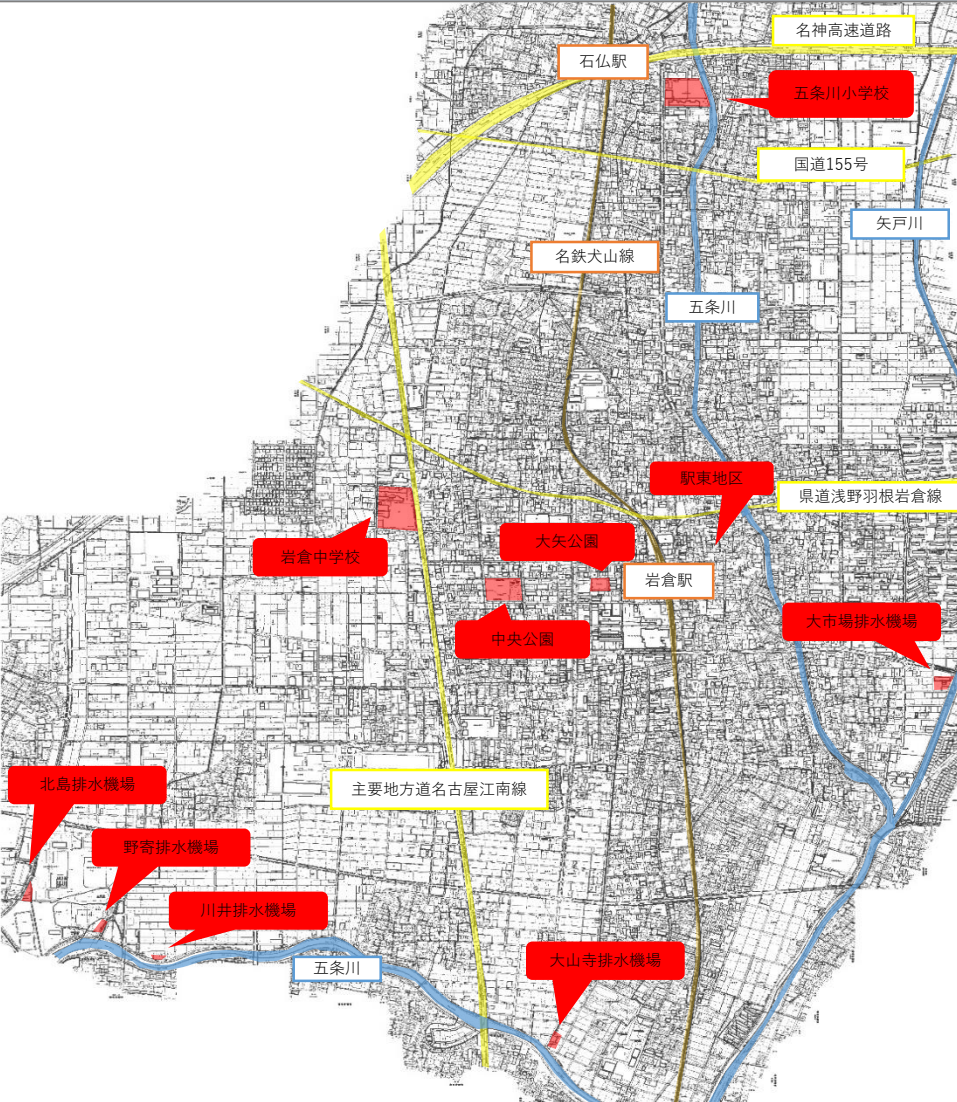


【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保企画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・ハザードマップの更新



○「住むなら岩倉！子育て・健幸・安心なまち」治水対策にも取り組み「やっぱり岩倉がい〜わ」といわれる市を目指す
 ○公共施設(公園、学校等)に雨水調整池を整備、排水機場の更新、避難計画策定などの対策を行う



五条川小学校の雨水調整池の様子



大市場排水機場更新イメージ図



※短期は5年程度、中・長期は10~20年以上を想定

対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●内水被害軽減策 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (大市場・大山寺・北島・野寄・川井の5排水機場の更新) (ポンプ排水能力の増強) ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (五条川小学校・岩倉中学校・中央公園・大矢公園・駅東地区に雨水調整池を整備) 		
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムラインの改訂) ・要配慮者施設等の避難確保企画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画策定の推進) ・ハザードマップの更新 (ハザードマップ更新) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 (避難場所・経路の情報推進) ・分かりやすい教材等を用いた防災教育 (防災教育の推進) ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (マイタイムライン策定の推進) 		

【清須市の流域治水対策】



★水と歴史に織りなされた安心・快適で元気な都市を目指し、市民と行政が一体となって災害への備えを充実させ、**安全で安心に暮らせるまちをつくる**



対策メニュー		短期	中長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備（雨水調整池の整備） ・民間開発による貯留施設設置指導（開発における雨水貯留浸透施設の設置指導） ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援（雨水貯留浸透施設設置補助金、浄化槽雨水貯留施設転用補助金） ・透水性舗装の整備 ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強（雨水幹線の整備） ・ポンプ場の新設・増強・機能強化（雨水ポンプ場の整備） 			
【被害対象を減少させるための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（防災指針のガイドライン検討のモデル都市） 			
【被害の軽減 早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・広域避難計画の策定（広域避難について検討中） ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知（電話・登録制メール、防災行政無線による情報伝達） ・分かりやすい教材等を用いた防災教育（水害をテーマとした防災講演） ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（手作りハザードマップの作成） （自主防災訓練等において、ハザードマップの活用方法や避難方法の啓発） （自主防災訓練等において避難訓練や避難危険箇所の確認） （市内中学生の自主防災訓練への参加） 			<p>避難確保計画の作成</p>

【北名古屋市の流域治水対策】



- 北名古屋市は、市民と行政が同じゴールをめざして協働してまちづくりを進めることで「**健康快適都市**」**誰もがいきいきと安全・安心に暮らせるまち**をめざす。
- 具体の施策としては、雨水による氾濫被害を軽減させるために、**幹線排水路**や**貯留施設****排水ポンプ場**の整備を実施していく。



I - ① 幹線排水路の改修

II - ① 雨水貯留施設の整備

I - ② 排水ポンプ場の整備



対策イメージ(雨水貯留施設)



対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貯留管等の整備 (雨水貯留施設の整備) ・ 民間開発による貯留施設設置指導 (開発における雨水浸透阻害行為指導) ・ 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設整備の支援) ● 内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水排水網の新設・増強 (幹線排水路の改修) ・ ポンプ場の新設・増強・機能強化 (排水ポンプ場の整備) 		
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・ ハザードマップの更新 		

避難確保計画の作成



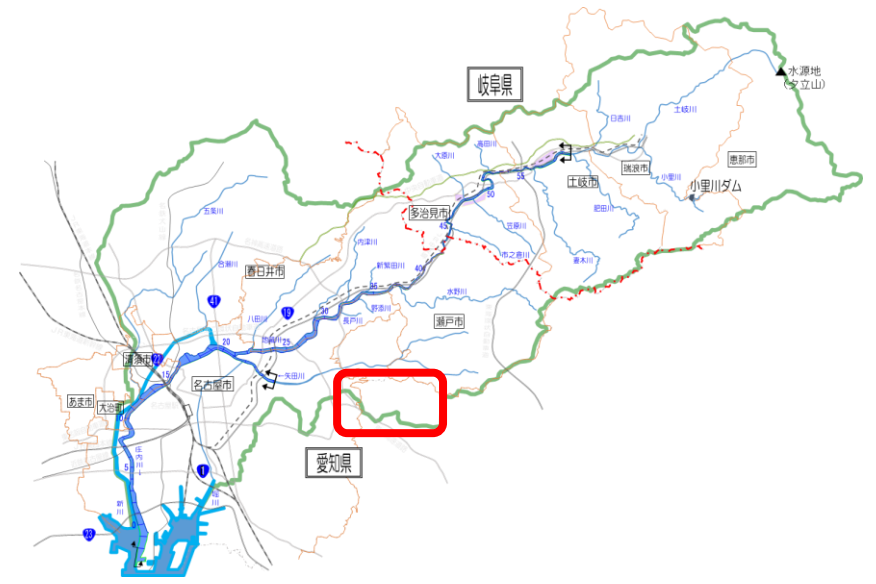
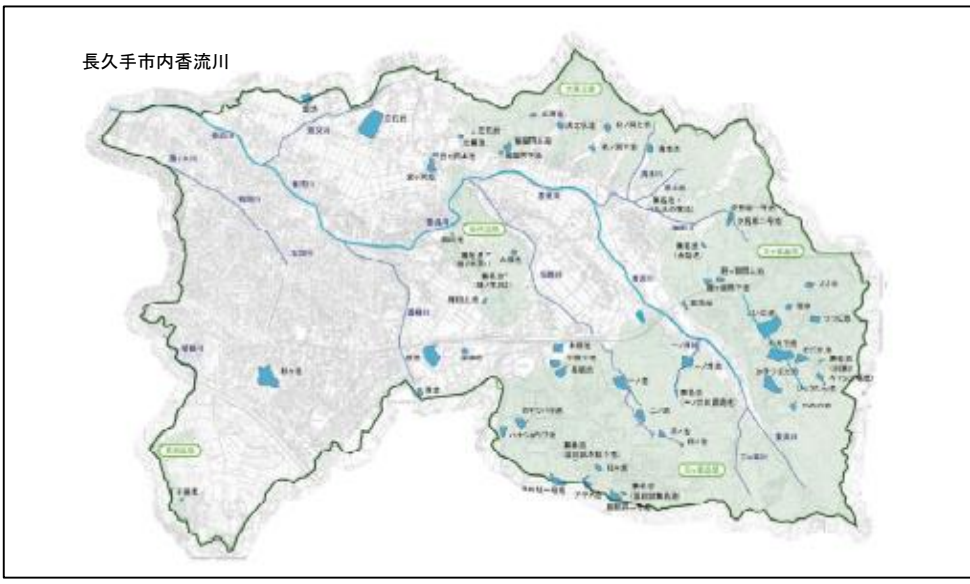
“あまデカラ”により、住みやすいまちづくりを実現するための**雨水流出抑制・防災対策推進**を図り、**AMEと共存するAMAを創る**。



対策メニュー	短期	中・長期
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (保全調整池及び雨水貯留浸透施設の整備) ・透水性舗装の整備 ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (雨水排水ポンプの整備) 		
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムラインの作成・周知) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進) ・ハザードマップの更新 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育 (住民の防災意識向上のための取組(防災教育の推進等)) ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (マイタイムラインの作成の推進) 		

※短期目標は5年程度、
中・長期目標は10～20年程度を想定

- 万博理念を継承し、自然環境にこだわるまちづくり。
- 具体的な施策としては、水害ゼロを目指し、河道の継続的な維持管理と早期避難を可能にする。



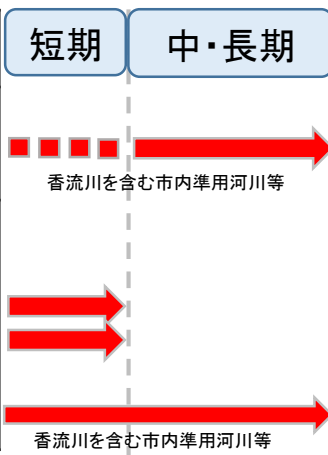
河畔林の繁茂状況



河川カメラの設置状況

一級河川香流川

区分	対策内容
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	<ul style="list-style-type: none"> ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 ・河道掘削の調査、継続的な維持管理
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保（要配慮者施設等の避難確保計画の作成） ・ハザードマップの更新 ●ソフト対策のための整備 ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設（河川カメラの設置）



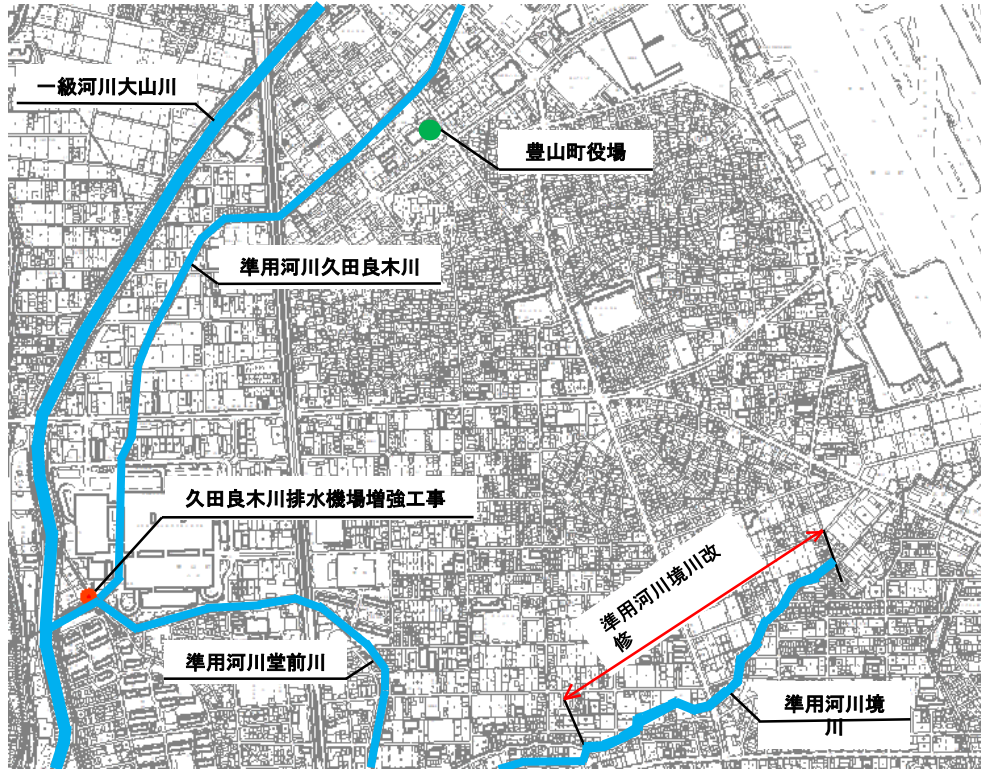
【豊山町の流域治水対策】



被害軽減を目的とした流域治水対策及び町民の防災教育の推進等を実践し、「安全・安心で住みやすさを実感できるまちづくり」の実現を目指す



平成12年東海豪雨被害状況



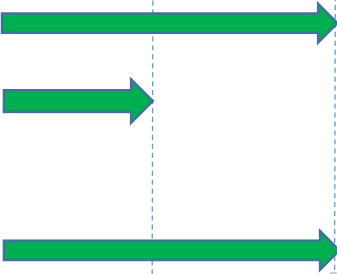
◆大口町では、災害に強い豊かな生活基盤の創造を目指しています！

☞ 災害などから住民の大切な生命や財産を守るために災害に強い都市基盤の整備を進めるとともに、関係者間の連携を通じて地域の自主的な防災活動の一層の充実を図り、安心して暮らせるまちづくりを進めています。

対策メニュー



- 【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】**
- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・ハザードマップ更新（令和3年度更新予定）
（現行の防災マップ（地震・洪水）を更新し、新しい情報を住民に届けます。）
 - ソフト対策のための整備
 - ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設（監視カメラ設置）
役場からほど近い五条川（平和橋）に監視カメラが設置しており、川の水位を確認することができます。
また、今後、民間企業の協力を得ながら、主要な河川のポイントに監視カメラを増設していく予定です。



☞ ■現行の防災マップ
（平成26年3月作成）

☞ ■尾張北部豪雨
（平成29年7月14日）

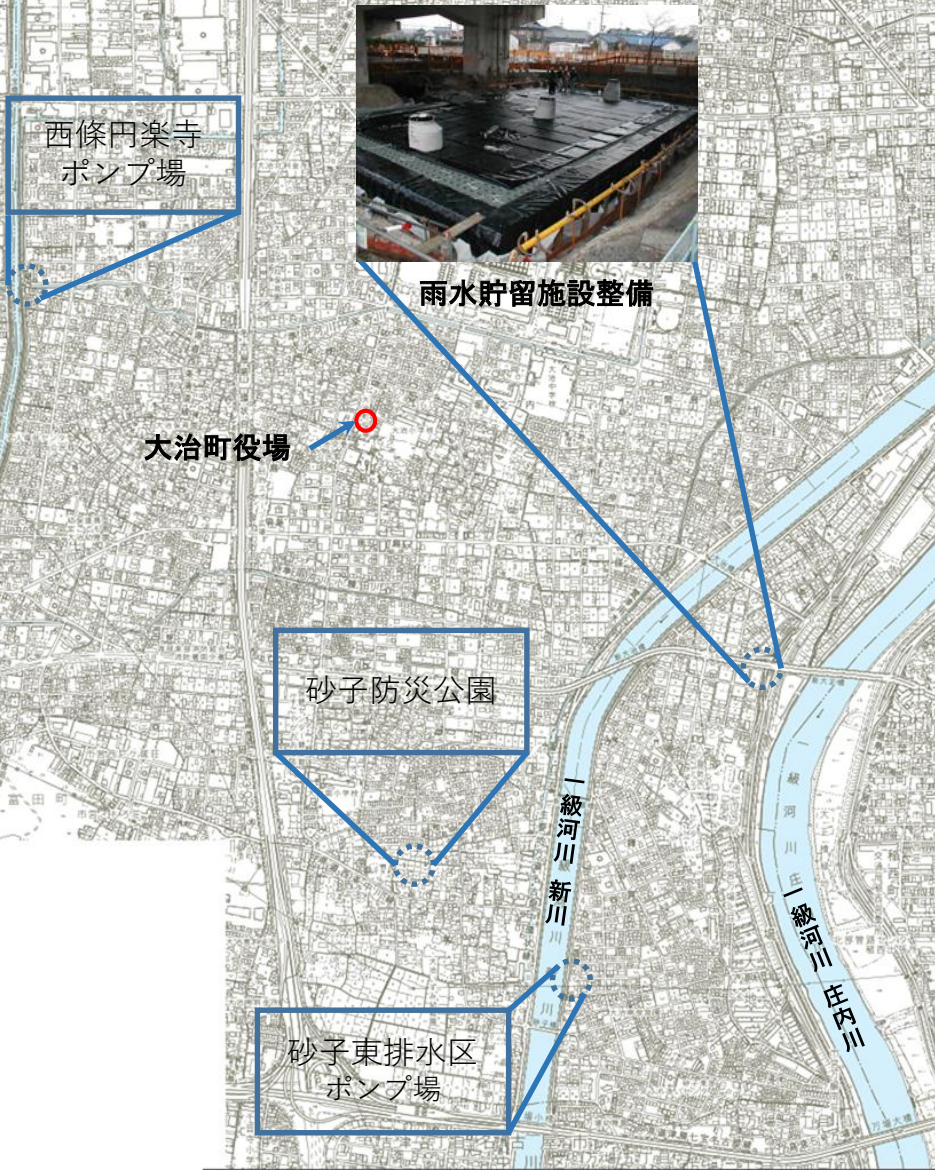


扶桑町ではみんなで“守る”まちづくりを目指し、雨水流出抑制と住民の防災意識向上を実践し下流域への流出抑制していく。



対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 ●流出抑制対策 ・貯留管等の整備 (貯留施設の整備計画) (貯留施設の整備・効果発現) ・民間開発による貯留施設設置指導 (民間企業等による雨水貯留浸透施設の整備) ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設(雨水タンク・浸透柵)設置の支援)		
【被害対象を減少させるための対策】 ●浸水ハザードエリア等における各家庭への浸水防止対策 ・浸水防止塀設置の支援		
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 ●被害軽減対策 ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 ・避難場所や経路等に関する情報の周知 (あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供) ・分かりやすい教材を用いた防災教育等の防災意識向上のための取組 (地域防災リーダーの養成)		

安全で安心して暮らせるまちづくり
 海抜ゼロメートル地域として、発生しやすい浸水被害の未然防止に努め、町民の防災意識を育む



対策メニュー

短期 中・長期

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

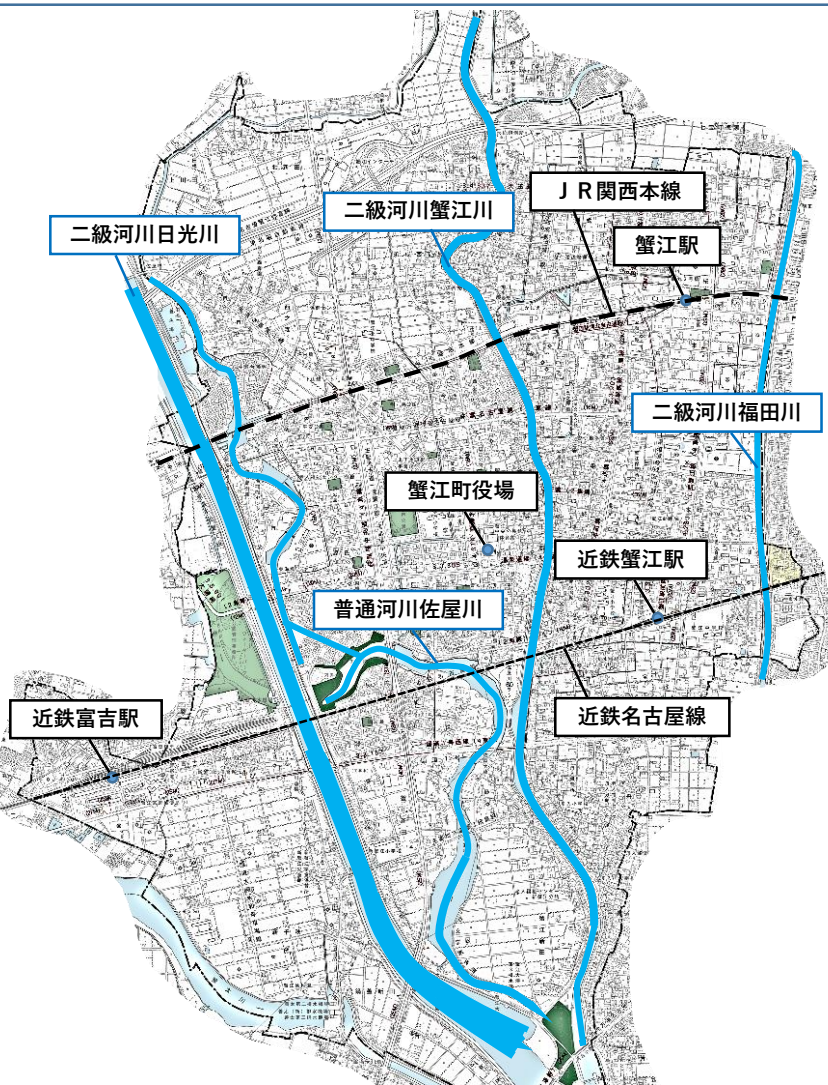
- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
（浚渫（準用河川））
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備
（貯留施設機能の維持）
 - ・民間開発による貯留施設設置指導
〔 開発行為に対する流出抑制指導
（貯留浸透施設） 〕
- 内水被害軽減対策
 - ・ポンプ場の新設・増強・機能強化
〔 ポンプ場の整備
（西條円楽寺地区・砂子東排水区） 〕

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 早期復旧に備えた対策
 - ・防災拠点の整備
（一次避難地となる防災公園整備）
- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
〔 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成
・更新の促進 〕
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育
（小学校における防災教育の実施）
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
〔 みずから守るプログラムによる
ハザードマップ作製 〕

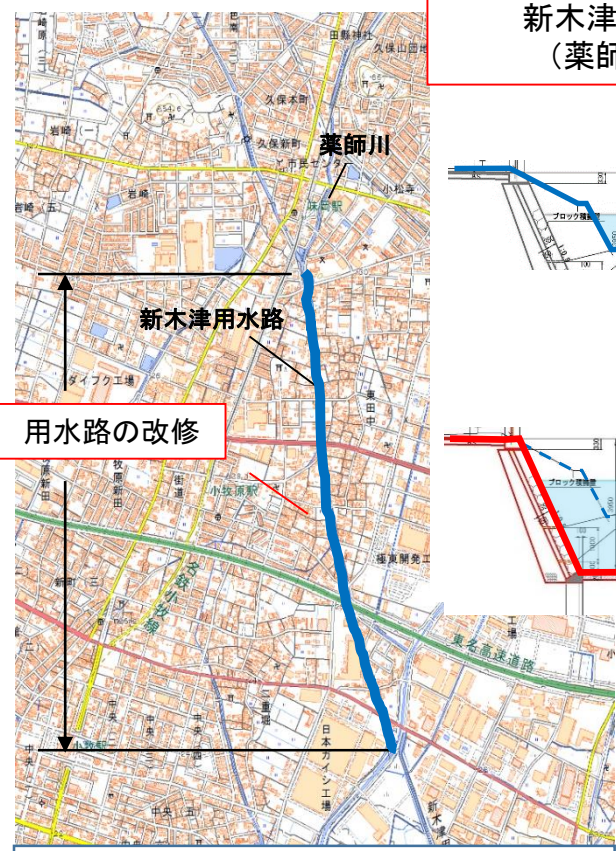
避難確保計画の作成

- 蟹江町では、「豊かな環境と安全がもたらす持続可能なまちづくり」をめざす。
- 具体の施策としては、排水ポンプの増強等による内水対策や、地区防災計画の推進等による住民の防災意識向上を図っていく。

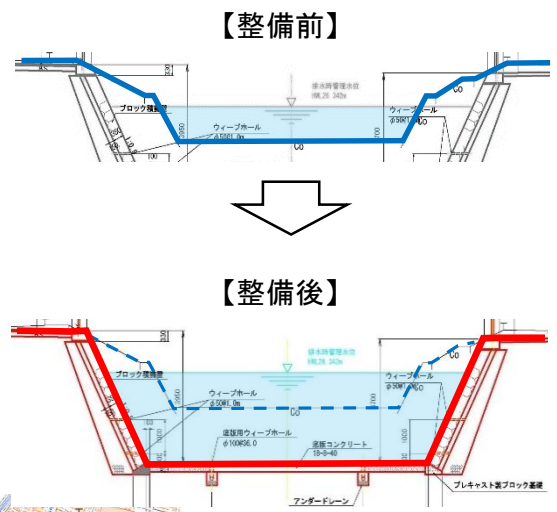


対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (排水路の整備、改修及び堆積土砂の浚渫) ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (浄化槽雨水貯留施設転用への支援) ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (排水ポンプの増強) 		
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムラインの更新) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (要配慮者利用施設の避難確保計画の作成) ・ハザードマップの更新 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (地区防災計画の策定推進、自主防災訓練の実施) 		

- 東海農政局では、地域の排水路としての機能を有し、河川と兼用工作物となっている農業水利施設を整備することにより、農地及び周辺居住区の湛水被害の軽減をめざす。
- 具体の施策としては、集中豪雨や流域の都市化の進展等による降雨時の流出形態の変化に対応するため、新木津用水路の断面を拡幅し、排水機能を向上させる。



新木津用水路の断面を拡幅
(薬師川河川供用区間)



犬山市や小牧市を中心とした局地的豪雨
(平成29年7月14日豪雨)



水路断面を拡幅した区間では水位が低下







◎近年の集中豪雨等により周辺の農地や家屋等に湛水被害を及ぼすおそれ

対策メニュー	短期	中・長期
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 用排水路の改修 (新木津用水路 薬師川河川供用区間の改修 (国営総合農地防災事業)) 		➔

【中部森林管理局の流域治水対策】

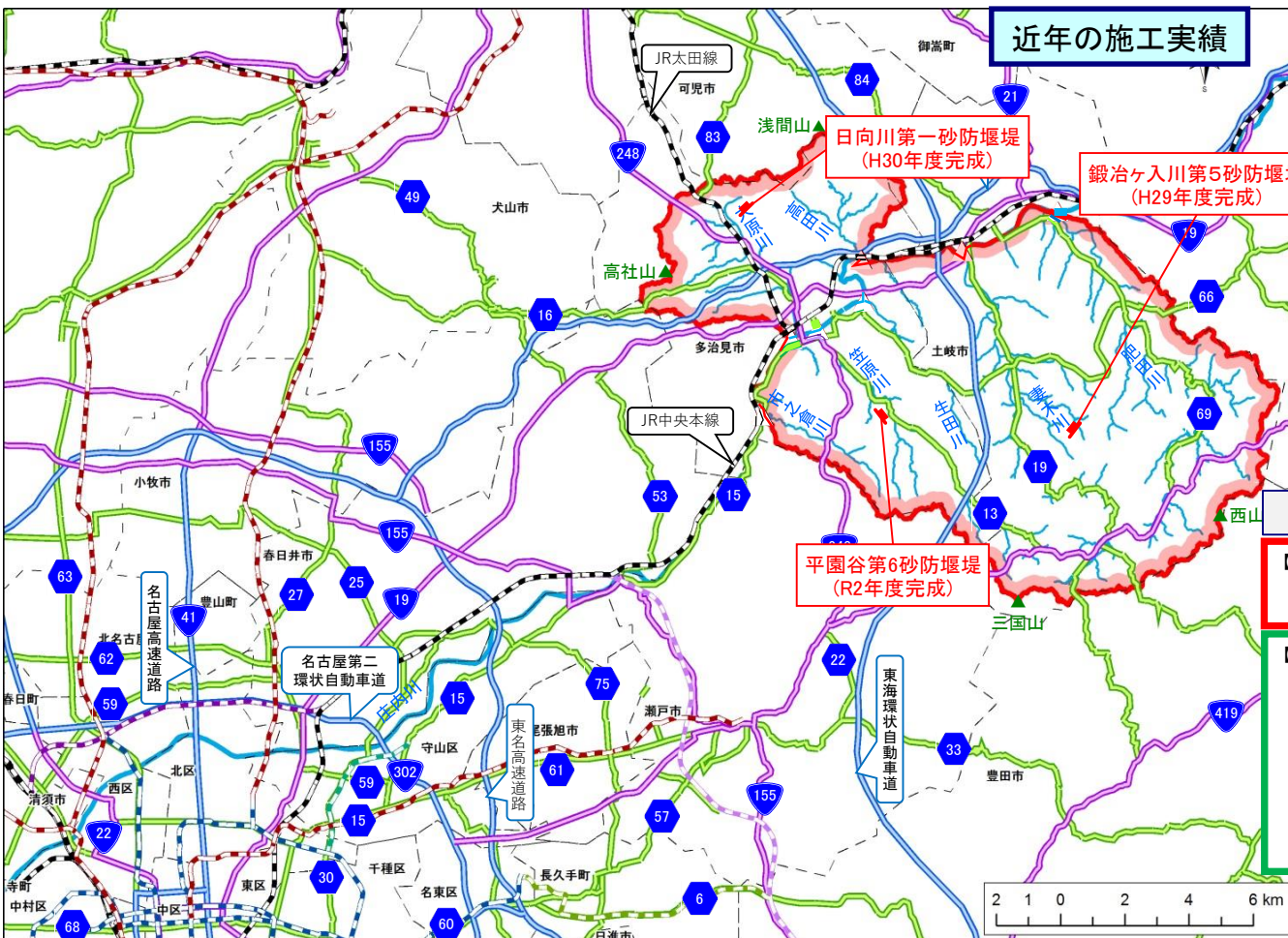
- 森林地域においては、森林の有する水源かん養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図ることにより、流域治水対策を推進。
- このため、間伐等の森林整備を適時適切に実施するとともに、山地災害等により機能が低下した荒廃地・荒廃森林については機動的に治山対策を実施。



対策メニュー	短期	中・長期
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・森林保全 (森林整備 (間伐)) (森林の適正な管理) ●土砂災害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設の整備 (治山対策) 	  	  

いのちとくらしを守る砂防整備を推進していく

- ①庄内川本川等の洪水の安全な流下に寄与する「土砂・洪水氾濫対策」
- ②物流・避難経路の安全確保に寄与する「土砂災害対策」としての事前防災及び地域と協働した**里山砂防**を着実に推進。



鍛冶ヶ入川第5砂防堰堤(土岐市)

対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための方策】 ●土砂災害対策 ・砂防施設の整備	→	→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 ●被害軽減対策 ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (タイムラインの作成支援) ・関係機関との連携強化 (多治見市浸水対策協議会、土岐川流域新五流総地域委員会) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組	→	→